

人間文化科の3年生が課題研究発表を行いました（1/13(水)）

1月13日（水）5、6時間目、人間文化科の3年生が課題研究の校内発表会を行いました。発表は、「パッチワーク」、「食物」、「被服」の順番で行い、人間文化科の1、2年生が先輩たちの発表を聴きました。

「パッチワーク」を課題研究のテーマにした4名のグループで、日本の4つの季節をパッチワークで表現しました。日本の季節が他の国にはない景色を楽しめるにも関わらず、コロナ禍で外出する機会がなくなったことからテーマを思い立ったそうです。「ビリー君」と「スーちゃん」2人が季節に応じた衣装に身を包んでいる、ほのぼのとした作品に仕上げました。

「食物」を課題研究のテーマにした生徒たちは、個人でテーマ設定を行い、テーマ設定の理由、テーマに沿って作った料理の紹介、考察などをパワーポイントを用いて解説しました。主なテーマとして、「アレルギー対応のスイーツ」、「野菜嫌いでも食べやすい！豆乳を使った健康レシピ」、「美味しい料理を食べて腸内環境を整えよう！」、など個性豊かなテーマが並びました。

「被服」を課題研究のテーマにした生徒たちは、2～4名のグループを作り、2年次の1月からドレスのデザイン画を作成し、製作に使う材料の検討を重ねてきました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、約2カ月間製作はできませんでしたが、3年次の6月にデザインを決定したのち、製図、ドレスの仮縫いを重ねて本縫いを行うなど例年よりも短いスケジュールの中、課題研究の授業時間以外でも多くの時間をかけて完成させました。

発表の際、生徒は「コロナ禍で製作の開始が遅れて不安だったが、完成してよかった」（パッチワーク）、「今回のテーマを通して、野菜嫌いな友達が食べられるような料理を作ることができてよかった。自分自身も嫌いな野菜を克服できてうれしい」（調理）、「作るのが大変だったが、作りたいドレスができたので良かった」（被服）、「イメージ通りのドレスを作ることができた。反省点はたくさんあるが、とても楽しく自分らしいドレスを作ることができたと思う」などの感想を述べていました。

1、2年生は先輩たちの発表を「課題研究評価シート」で評価しながら、真剣に聴いていた様子が印象的でした。



課題研究「パッチワーク」の作品



課題研究「食物」の発表



課題研究「被服」でドレスの発表



ドレスに生徒の個性が出ています